

会 議 録		令和6年6月14日作成	令和10年3月末日廃棄
会議名	京都府南丹警察署協議会（令和6年度第1回）		
開催日	令和6年6月13日（木曜日）		
時 間	午後3時から午後4時40分までの間（100分）		
場 所	京都府南丹警察署 講堂		
出席者	橋本会長、廣瀬副会長、山下委員、塩内委員、山内委員、畠中委員、森委員、海野委員 （欠席 春田委員） 計8人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、広聴相談係長、地域課員 計11人		
諮 問 事 項	地域警察について		
会 議 内 容	1 署長挨拶	司会	副署長
	2 会長挨拶		
	3 各委員自己紹介		
	4 副署長、各課長自己紹介		
	5 協議	司会	会長
	(1) 諮問事項説明 地域警察について～地域課長		
	【委員】管轄の交番から、巡回連絡で自宅を訪問してくれた際に、近況確認等の話をしてくれて、安心感を覚える。また、交番の前を自家用車で通る時もあるが、交番を見ると安心すると同時に安全運転を心掛けなければいけないと考えて気が引き締まる。また、制服警察官や赤色灯を搭載している警察車両には抑止力があり、心強く感じている。		
	【警察】警察官の制服やパトカーを見せることで、住民の方に安心感を与える一方、犯罪者には犯罪を断念させる効果がある。今後も、制服の威力を発揮する街頭活動を推進する。		
	【委員】住民の方に安全安心を実感してもらうためには、警察・行政・消防の連携が大切であると考えている。また、交番・駐在所が発行するミニ広		

会 議
内 容

報紙は警察と住民をつなぐ重要なツールであると考えてるので、今後も、住民の心に響くミニ広報紙の作成をお願いします。

【委員】新型コロナウイルス感染症が落ち着き、外国人旅行者が増加しているほか、今後、外国人材の受け入れ制度の整備により就労目的で来日する外国人の増加が見込まれるが、外国人を対象とした防犯対策等の推進状況はどのようなものか。

また、高齢の住民ほど玄関に鍵を掛けない等の防犯意識が低いと考えられる。社会情勢にあわせて、動画配信等のSNSを積極活用することも、効果的な広報啓発活動と認められる。

【警察】例えば、入洛の玄関口である京都駅には、デジタルサイネージを設置しており、月毎に110番通報要領、防犯対策、災害対策等のテーマで情報発信している。さらに、当府警には指定通訳人がいるほか、地域警察官が携帯している通信機器には翻訳機能が搭載され、外国人への適切な対応体制は整っており、安心して観光していただく取組を推進している。

また、地域性や世代に起因していると考えられるが、高齢の住民ほど犯罪なんて起きないとの先入観があり、自宅の施錠をしない住民が多いと考えられるので、具体的な犯罪手口等を記載したミニ広報紙を配布する等して、自主防犯意識の向上につながる効果的な広報啓発活動を推進する。

【委員】自宅は駐在所管内にあるが、勤務員は地域の催事や会合等に積極的に参加し、地域社会に密着して、住民に寄り添った活動をしてきていることに地域住民は感謝している。

【委員】地域課長から、交番別刑法犯認知件数について説明を受けたが、具体的に多く発生している罪種はあるのか。

【警察】連続発生している罪種はないが、自転車盗やマスコミ報道されている銅線盗も管内では発生しており、非侵入窃盗が比較的多く発生している。発生状況等を分析した上で、交番速報や防犯メール等を活用して迅速に情報提供を行っている。

(2) その他

【警察】前回会議において、「通学時間帯に通学路上の歩道に跨って駐車している大型車両がある。近隣に所在する工場への資材搬入待ちのための駐車と考えられるが、パトロールにより運転者に対する指導をお願いします。」との意見があり、会議翌日、大型車両が駐車している状況を確認した。調査を実施したところ、駐車場所の直近に所在する工場への資材搬入待ちのための駐車であることが判明したことから、工場門扉の早期開放等の申入れを行った結果、工場側の協力が得られて駐

会 議
内 容

車車両問題は解決した。

【委員】迅速に対応して、子供たちの安全を確保したことは大変心強く感じる。

【委員】通学路にもなっている細街路において、駐車車両が多数あり、通学の妨げとなっている。

【警察】交通違反取締りとパトロールの実施により、適切に対応する。

【委員】南丹署管内には、信号機のない環状交差点が一箇所あるが、交通事故を誘発しかねないと感じている。

【警察】正しい走行方法について広報活動を強化するとともに、道路環境整備を推進する。

【委員】京都府警察官が飲酒の上で電動キックボードを運転して道路交通法違反で書類送検、鹿児島県警察の元生活安全部長が個人情報を含む内部文書を漏えいした国家公務員法違反で逮捕されたことがマスコミ報道されていた。現在、電動キックボードの適正走行について、社会をあげて取り組んでいるところ、法を取り締まる警察官が、法で取り締まられることになり、住民に遵法精神を説くことができるのか。このような不祥事案を受けて、南丹署としてはどのような署員教養を行っているのか。

【警察】署長、副署長等の幹部から部下職員に対して、事案概要を説明した上で、警察官自らが法令違反はもとより警察官としての信用を大きく傷つける行為をすれば、府民の警察に対する信頼を失い、警察活動に対する協力と支持が得られなくなり、管内の治安維持に多大に支障を来すことになる旨を教養している。

具体的には、署員が公私を問わず、警察官としての誇りと使命感を堅持できるよう、幹部から心に響く実体験に基づく教養や、教養資料に基づく機会教養など、署員への意識深化を図るため、繰り返しの教養を実施している。なお、指示教養に当たっては善良な署員の士気や自尊心を傷つけないよう配慮している。

【委員】南丹署にあっては、京都府警察・他府県警察の不祥事案を他人事と捉えず、能動的に署員教養に取り組んでいることが分かり、頼もしく感じる。今後も、治安維持を国民から負託されているという意識を堅持して、府民からの協力と支持信頼を得られる警察活動をお願いする。

【警察】本日の各委員からの意見については、今後の警察署業務の参考とさせていただきます。今後とも忌憚のない意見をお願いする。

6 事務連絡

次回の南丹警察署協議会の開催日については、日程調整の上、連絡させていただきます。

以上

第1回京都府南丹警察署協議会開催状況

